



## 生命誌の広場

### テーマ別に投稿を読む

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子の「ちょっと一言」
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

### あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

### 最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

### 最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

### 過去の書き込み

2019年 10月  
GO

### みなさんからのご意見



#### 中村桂子の「ちょっと一言」

#### 暑中お見舞い:BRHメールマガジン vol.386(7/17) 付の感想

投稿日：2018.07.30 ニックネーム：相模のラクダ

暑中お見舞い申し上げます。さて、今年、高槻は、（地震、台風、酷暑など）、自然災害に会い、例年に増して厳しい年の様ですね。

7/17付：BRHメールマガジンvol.386の、中村館長の一言「ここまでひどくなって大丈夫ですか？」を読んだの思いを記載したいと思います。私も、館長と、全く同じ感想を抱いています。教育をつかさどる「文科省の方たちの行い（きっと全ての方でなく、一部の方と信じたい）は、個人的理由でのモラルハザードを 起こしていて 官人の行為とは思えません。日本の将来を担う、子供～大学生や、国の「科学行政や機関」を管轄している重要な組織です。国の教育をつかさどり、教育行政全般を担う官庁ですから、襟を正し リセットして根本的な「改革・改善」を実行すべきすべきで、政治家への忖度？も 防ぐ制度が必要と感じます。この件に、とうとう、JAXA の名前が出てきたことも個人的には ショックです。感想は、この辺までで！ 夏は、これから本番で 残暑も厳しい模様です、館長 スタッフの皆様 お体 ご自愛を！ では・・・

### お返事

投稿日：2018.08.08 名前：中村桂子館長

お見舞いありがとうございます。

教育・研究の周囲にイヤな空気が漂うのは、社会の本質を壊すと思うのです。政治には疎い人間ですが、どう考えても内閣府が力を持ち過ぎるシステムにしたことが政治家への「阿（おもね）り」を出世につなげ、それぞれの官庁の「矜持」を失なわせたのだと思います。「忖度」という言葉でごまかしていますが、今行なわれているのは「阿り」です。このシステムを止めないと未来は危ないと思います。

お暑さの中お大切にお過ごし下さい。



#### 中村桂子の「ちょっと一言」

### 生命誌と詩

投稿日：2018.07.28 ニックネーム：竹ちゃん

猛暑が一休みの関東ですが、台風が心配です。

予定では、今日生命誌館の見学に行くことになっていました。台風が心配だからすぐに帰宅してください、との妻のメールで昨夜遅く帰宅しました。

大阪市内の小学校で26日、27日と国語の授業を参観してきました。その中に、4年生の詩がありました。26日は、金子みすゞの「ふしぎ」です。27日は、まど・みちおの「よかったなあ」です。中村館長さんにその詩の授業についてお話ができればと、期待していたのですが叶いませんでした。

授業者は、50代の東京の女性教員ですが、まどさんの詩に悩んでいるようでした。



### 新着情報



[10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)

[10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)

[昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)

[パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)

[あくあびあ芥川とスタンプラリー開催\(19.10.01\)](#)

宿が一緒でしたのでその姿を垣間見ることができました。  
助言を求められれば、私の考えを少し話したのですが、ありませんでした。

26日の金子みすゞの『ふしぎ』の授業は、子どもたちとの呼吸が合い感銘の深いものになりました。

「ふしぎでたまらない」と呟いているのは何才ぐらいでしょうか、との問いに、  
子どもたちは、大人、子ども、小さな子といろいろと出た中で「3、4歳ぐらい」に落ち着きました。  
みなさんもそのころは、「なぜ、どうして」といったでしょう、と指導者は受け返しました。  
そうすると、子どもたちは、この詩が深く味わうことができたようです。  
この授業で、初対面の子もたちとの垣根は払われたように私には感じ、明日が楽しみにになりました。

27日、まどさんの『よかったなあ』は、子どもたちの力を信じて寄り添う授業になりました。

まず、代表者4名が連毎に音読し、もう一人が全文を音読しました。  
その後、題名を板書して、最初の問いは『よかったなあ』と感じた人は誰かです。  
第2問は「何を見ていて出たのでしょうか」です。  
ここまで確認した後、まどさんが草や木を見て想像をふくらませた事物の関係を略図に整理しました。  
地球を象徴する半円を描き、草・木・人・獣・鳥を書き加えました。  
草木をきらきらさせている雨・風・太陽を追加していきました。  
これで、この詩の全体像が概観できます。  
この詩の面白さを考えながら視写することを指示し、彼女は暗写で板書を始めました。  
その後、最初に概観したことを板書された詩の言葉で確認する学習に入りました。  
4連の「きらきらと」から考え、雨は『水』、風は『空気』、太陽は「光」と具体的に言葉の役割りをさらりと確認していました。  
それから、1、2、3連の草木の『よかったなあ』を言葉で確認した後、まどさんの『よかったなあ』の喜びの深さを探りました。  
『よかったなあ』の『あ』と『ああ』に表れていることを、それぞれ入れた場合と、いれない場合に分けて音読し、語感の違いも味わいました。

私は「まどさんが自然の中にいる人間よ、威張るなよ」と気づいた詩だと考えていました。  
彼女はそれを観念的でなく具体的にイメージさせていました。  
私の助言など妨害にしかならないこと、理屈っぽい自分が映されたことを学ぶことができました。

中村先生がまどさんの詩の話をされながら生命誌の話をNHKでされていたことを思い出しています。

暑中です。ご自愛ください。一言、報告まで。

## お返事

投稿日：2018.08.08 名前：中村桂子館長

メールありがとうございました。  
国語の授業についていつも貴重なお話をありがとうございます。金子みすゞやまどみちおという方たちがすてきな言葉を残して下さったので私たちはそこからたくさんのが学べますね。今の社会、あまりにも言葉が大事にされずにいます。これからの人が言葉に敏感であって欲しいと思っています。  
お暑いです。お大切にお過ごし下さい。



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 一番必要なのは水でした

投稿日：2018.07.23 ニックネーム：やっちゃん

7月7日の西日本豪雨災害で一週間断水を経験しました。  
結果、水の大事さを再確認。水一滴でも大事に扱おうと決めました。  
命の危機も感じる酷暑と断水を同時体験したことで、生命の基本を体に刻みました。水がなければ生きられない。水の惑星と呼ばれる地球に生きて、これほど水のありがたさを感じた事はありませんでした。  
体の中の水環境に注意を払わないと、脱水症で命を失うことになりかねません。皆さんも、どうぞご自愛ください。

## お返事

投稿日：2018.07.24 名前：中村桂子館長

大変でいらっしゃいましたね。蛇口をひねると飲める水が出てくるありがたさは、大声で叫んでもよいありがたさですね。ふだんあまり感じないで過していますが。水の恐ろしさと水の大切さを同時に教える「自然」は大きなものだと改めて感じました。今回また謙虚であれと教えられた気がします。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌WEBフォームより

投稿日：2018.07.06 ニックネーム：ギターボ

読んでいて、色んな分野の人が色んな気持ちで取り組んでいらっしゃるのだなと感心しています。触発されることが多いです。専門用語も学べて楽しい。

## お返事

投稿日：2018.07.06 名前：中村桂子館長

いろいろな受け取り方をさせていただくのがとても嬉しいので、これからもご希望をおっしゃってください。

## お返事

投稿日：2018.07.19 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

生命誌は科学だけでなく、芸術や思想の分野まで裾野を広げて取材しており、多様な分野の人々の考え方や気持ちを含めてお伝えしたいと思っています。これからも、さまざまな方の思いを想像しながらお楽しみいただけると幸いです！

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.07.06 ニックネーム：TG生

今号（96号）の芳賀先生は生年不詳なのでしょうか？毎号楽しく拝見しています。理科系のはしくれですが、生命科学とは縁遠いので、知的刺激を感じ、老化防止にも役立っているかと…I hope.

## お返事

投稿日：2018.07.06 名前：中村桂子館長

お生れは確か1931年のはずです。生年不詳が思いがけずお若いという意味でしたらその通りですね。老化防止にはなると思います。

## お返事

投稿日：2018.07.19 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・村田

芳賀先生の対談の編集に携わり、とても多くのことを学ばせていただきました。対談の最後に、現在ご執筆中とおっしゃっていた陶淵明の「桃花源」研究の著作の上梓を心待ちにしています。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌WEBフォームより

投稿日：2018.07.06 ニックネーム：鹿児島日帰君

生き方、考え方を改めるヒントにならないか、と思い読み始めました。講演「グリア細胞のはたらき」、興味深く拝聴しました。その後展示ガイドツアーに参加しましたが、DNAの縦の繋がりや横の拡がりや

という考え方や、「死」と「進化」の関係のお話(または、コピーは進化しないというお話)の深さや新鮮さに、興奮しました。高齢化は個人の欲求のひとつの現れとしても、少子化は大問題だな(人類進化しないなw)などと感じながら、生命誌館を後にしました。  
スタッフの皆様、大変ご親切に接していただきありがとうございました。

### お返事

投稿日：2018.07.06 名前：中村桂子館長

お名前から、遠路いらして下さったのかと想像しています。ありがとうございました。またご来館下さい。他の方もお誘い下さるともっと嬉しいです。

### お返事

投稿日：2018.07.11 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・平川

6月環境月間出張展示、映画上映と鹿児島におじゃましました。懐かしい故郷に胸がいっぱいでしたが、こちらにご来館いただけて感激しています。自然が思いもよらないですがその一部の生きものとしてこれからも生命誌をよろしく願いいたします。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.07.06 ニックネーム：生命誌カード読者さん

毎回楽しみに読んでいます。紙工作も楽しんでます。少し前のでは、結構難しいのもありました！

### お返事

投稿日：2018.07.06 名前：中村桂子館長

紙工作はさまざまな年齢の方に楽しんでいただいています。作るのは楽しいものなのです。

### お返事

投稿日：2018.07.11 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

ありがとうございます、96号と97号は、のりもハサミも不要で簡単に組み立てられる仕様ですが、詰まった情報は例年と変わらない充実ぶりです。次号も生命誌の器を感じさせる仕掛けが登場する予定ですので、ぜひ楽しみに！

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.07.06 ニックネーム：生命誌カード読者さん

100/4=25年ますますのgrade upを実感しています。教養から専門の学生教育に大いに活用しています。

### お返事

投稿日：2018.07.06 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。生命誌の基本は忘れずにいつもこれまでにない何かを探していきたいと思っています。よいお考えありましたらお教えてください。

### お返事

投稿日：2018.07.11 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・中井

生命誌カードをご活用くださりありがとうございます。これからも、さらに

表現の工夫を重ねながら、みなさまに生きものに関する様々な情報をお届けします。表現の工夫を重ねながら、みなさまに生きものに関する様々な情報をお届けしますので、今後とも応援よろしくお願いたします。

## 季刊「生命誌」

### 季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.07.06 ニックネーム：スーパーマリオ

他の分野の有名な先生の研究の歴史を学ぶために使っている。たまに講義等に  
使わせてもらっている。

### お返事

投稿日：2018.07.06 名前：中村桂子館長

どんどん講義に活用なさって下さい。若い仲間をふやしたいので学生さんに  
伝えて下さるとありがたく思います。

### お返事

投稿日：2018.07.06 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・川  
名

研究者の方に人生のお話を伺うと、その背後にあるさまざまな歴史と、これ  
からつづいていく未来の時間を感じます。科学者の物語をこれからも紡いで  
いきますので、ぜひまた感想をお寄せください。

▲ ページの先頭へ

サイトのご利用について | プライバシーポリシー | サイトマップ | ギャラリー | サイトマップ

**BRH** JT生命誌研究館  
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.